

## 2012 年度サラウンドの日体感視聴会報告

DHT サラウンドサウンド部会主査 / パイオニア (株)

小谷野 進司

2011年7月24日からの地上デジタル放送への完全移行も無事完了し、オーディオ業界も長年の低迷から上向き傾向が見え始めています。ネットワークを使ったAVの視聴スタイルも大きな注目を浴び、久しぶりにオーディオ業界も活況を呈していることは嬉しい限りです。しかし、TV業界が厳しい決算となった中で開催された今年度の「サラウンドの日体感視聴会」は開催前の懸念をよそに各会場で盛り上がりを見せましたので、その模様について報告致します。

### 1. 「サラウンドの日」について

JEITAと日本オーディオ協会は、サラウンドサウンドやホームシアターの普及、啓発に向けて活動を行ってまいりましたが、一般の方々に対する認知を高めるために、2008年に5.1chに因んで5月1日を「サラウンドの日」として制定しました。以来、4月、5月を中心に「サラウンドの日体感視聴会」イベントとして、会員企業やサラウンド関連団体、放送事業者等により全国各地で様々な体験会を開催しています。



サラウンドの日シンボルマーク



体感視聴会ポスター

### 2. 実施概要

2012年度は地デジ移行後、初めてのサラウンドの日体感視聴会となりましたが、大手家電メーカーの記録的な赤字決算やTVの販売低迷もあり、当初の開催表明企業、団体が少なく盛り上がりには欠けるのではないかと懸念がありました。しかし、今年度はサラウンドの日制定後、初めて協会主催のイベントを企画開催するなど、最終的には2011年度並の参加団体により実施する

ことができました。デモコンテンツについては、昨年同様に DEG ジャパンより DEG ジャパン  
 アワード受賞作品から「バーレスク」「トランスフォーマー～Dark side of the Moon～」の2タ  
 イトルを提供頂き各会場で使用致しました。

期間中の来場者は各会場合わせて約5,000名と昨年とほぼ同じ状況を確認できました。

参加企業・団体	実施日	開催場所
パイオニア	5月19日 常設	銀座
ソニー	4月21日～5月6日	銀座 大阪 名古屋
パナソニック	5月6日	大阪
パナソニック	常設(4月21日～5月31日)	汐留
ヤマハ	5月12日	大阪
	5月20日	名古屋
	5月26日	東京
オンキヨー	5月20日	名古屋
エムズシステム	4月26日～5月1日	新富町
	5月2日～15日	日本橋高島屋
国立音楽院	5月3日	池尻
Mixed Media Japan	5月19日	G-ROKS 下高井戸
大建工業	5月12日、16日、20日	秋葉原
UNAMAS	5月27日	SONA視聴室
サイデラ・パラディソ	5月2日	神宮前スタジオ
日本オーディオ協会	5月1日	日比谷図書館

各会場での実施状況



<パナソニックセンター大阪会場>



<ソニーストア大阪会場>



＜パイオニアプラザ銀座会場＞  
サラウンドサウンド meets リードオルガン



＜ヤマハ名古屋会場＞  
2012NEWリビング・オーディオ相談体験会



＜M's システム名古屋会場＞



＜国立音楽院会場＞  
立体音響による音楽を体験！



＜Mixed Media Japan＞  
サラウンドの世界入門



＜日本オーディオ協会＞  
ホームシアターセミナー&体験会

今年度は初めての試みとして日本オーディオ協会デジタルホームシアター委員会（DHT 委員会）が企画運営した「ホームシアターセミナー&体験会」を開催しました。

会場は改装なった日比谷図書文化館のスタジオプラスを使用し、DHT 委員会各委員が講師となりホームシアター構築に関する様々なテーマで講演をおこないました。

進行については機器のトラブルなどがあり不手際もありましたが、女性を含む29名が参加し、

4時間に渡るプログラムにもかかわらず最後まで熱心に聴講されていました。

参加者の大半は既にホームシアターを導入されており、部屋の音響処理をどうするかについて関心を持たれている方が多く見られました。

「ホームシアターセミナー&体感視聴会」  
「プログラム・会場ご案内」

プログラム

1) ホームシアターを楽しもう!

講師: パナソニック株式会社 白岩紀人氏

ホームシアターって難しい、お金がかかる、インテリアと馴染まないなどと思っているあなた、それは思い過ごしです。すてきなホームシアターの事例を紹介しながらその楽しみ方をお教えします。

2) リビングルームをホームシアターに

講師: 石井オーディオ研究所 石井伸一郎氏

ホームシアターを始めたいけれど専用ルームが無いといい音で聴けないのではと思っている方、そんな心配は要りません。多くの視聴室の設計を手掛ける講師がリビングルームでの音響について実験を交えて解説します。

3) 家庭でのスピーカ配置ガイドライン

講師: 沢口音楽工房 沢口真生氏

家庭でホームシアターを始めるときに悩むのがスピーカの配置です。日本オーディオ協会では配置許容度について研究を行いガイドラインを提案しました。その概要について解説します。もう悩む必要はありません。

4) DEGJ Award受賞作品を聴く

講師: バイオニア株式会社 小谷野進司氏  
ソニー株式会社 照井和彦氏

第4回DEGJアワード作品から次の2作品を紹介、視聴します。  
ベスト高音質映像部門:「バーレスク」  
ユーザー大賞:「トランスフォーマー」  
ベストインタラクティブ賞:「浜崎あゆみ FIVE」

5) 音楽をサラウンドサウンドで聴こう

講師: オタリテック株式会社 石井久雄氏

音楽作品にもサラウンドサウンドの特徴を生かした数々のすばらしい作品があります。講師のDVRやSACDのコレクションからその聴き所の紹介とともに視聴します。第51回グラミー賞受賞・ノミネート作品も聴けます。

各会場の参加者からは、

- \* フロントハイを設置したいが、どんなスピーカを選べば良いのか? (50代 男性)
- \* 将来的にリアスピーカを増設して、5.1ch もしくは 7.1ch にできるフロントサラウンドシステムを発売してほしい (20代 男性)
- \* シアターバーの設置だけでこんなに効果があるとは。TV と比較試聴したことがなかったのでびっくりしました。(50代男性)
- \* 「サラウンド」「5.1ch」などなんとなく知っていた言葉の意味が良くわかりました。(30代女性)
- \* サラウンドの知識が全くなかったのですが、基本部分を丁寧に教えて頂いたのが良かったです。
- \* サラウンドシステムがほしくなりました。

- \* 大変参考になった。又機会があれば参加したい。
- \* 最新のトレンドが知りたい（ハード、ソフト）。
- \* サラウンド音楽をもっと聴きたい。

などの声が寄せられました。

各会場とも嗜好をこらしたプログラムにより、多くの参加者を得て熱気のこもった体験会を催すことができました。協力頂いた企業、団体関係者にはあらためてお礼申し上げます。

### 3. サラウンドサウンド普及に向けて

日本オーディオ協会では DHT 委員会活動を通じてホームシアターおよびサラウンドサウンドの普及拡大に努めておりますがまだまだ認知が不十分であり、また、社会情勢の変化により期待した市場拡大に繋がっていない現状があります。

DHT委員会では、2010 年から「デジタルホームシアター取り扱い技術者資格認定制度」(<http://www.jas-audio.or.jp/dht/>) を設けエンドユーザに向け正しいアドバイスが出来る人材育成を行っています。すでに、3 級から 1 級までの認定試験を行い、接客から工事まで実務に生かしている方も現れ本資格制度の認知も進んできています。今後、資格取得者を通じて市場活性化が図れることを期待しています。

最近ヘッドホンで音楽を聴くことが多くなり、空間を感じながら音を聴く機会が減っています。ホームシアターやサラウンドサウンドが普及しない理由として住宅事情など様々な理由が挙げられていますが、体験した方々は皆さんそのすばらしさを認識されています。このような方々に実際に機器を購入頂けるよう今後とも啓発、普及活動に努めてまいりますのでご協力よろしくお願い致します。

### 筆者プロフィール

小谷野 進司（こやの しんじ）



1952 年生まれ。1975 年東京電機大学電子工学科卒。

同年パイオニア（株）入社。

スピーカの設計、開発を経て、同社総合研究所にてオーディオ関連研究に従事。

2005 年よりオーディオの普及と教育活動を開始。

現在同社コーポレートブランド戦略部戦略企画部戦略推進課副参事。